

Procrea

● プロクレアダイジェスト Digest

2022 | 2022年9月期
ミニディスクロージャー誌
(2022年4月1日～2022年9月30日)





挑む。超える。ともに創る。

プロクレアホールディングス

プロフィール (2022年9月30日現在)

商号	株式会社プロクレアホールディングス (英文名称:Procrea Holdings, Inc.)
設立日	2022年4月1日
本店所在地	青森県青森市勝田一丁目3番1号
主な本社機能	青森県青森市橋本一丁目9番30号
事業内容	・銀行および銀行法により子会社とすることができる会社の経営管理及びこれに付帯関連する一切の業務 ・その他、銀行法により銀行持株会社が行うことができる業務
資本金	200億円
営業店舗数	本支店・出張所 182カ店
決算期	3月31日
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場 (証券コード:7384)

Contents

ごあいさつ	1
プロクレアホールディングスの概要	2
第1次中期経営計画基本戦略	3
サステナビリティ方針	4
CSRの取り組み	5~6
業績ハイライト(2行合算)	7~8
連結財務諸表	9
株式情報	10

取締役社長
(株式会社青森銀行頭取)

成田 晋



取締役副社長
(株式会社みちのく銀行頭取)

藤澤 貴之

ごあいさつ

皆さまには日頃より格別なお引き立てを賜り、まことにありがとうございます。また、新型コロナウイルス感染症やこの夏の大雨により影響を受けておられる皆さまには、心よりお見舞い申し上げます。

「2022年9月期ミニディスクロージャー誌 プロクレアダイジェスト」をお届けいたします。どうかご一読いただき、当グループへのご理解を一層深めていただければ幸いです。

2022年上期の青森県経済は、コロナ禍や供給制約の影響から一部に弱さが見られましたが、総じて持ち直し基調で推移いたしました。3年ぶりのねぶた祭り開催等、地域を元気づける明るい話題も提供されました。コロナ水際対策の緩和により、今後のインバウンド需要の取り込みにも期待が持てます。

しかし一方では、ロシアによる世界秩序への挑戦に端を発し、資源高や原料高、エネルギー供給への不安が物価高騰として世界的に顕在化しております。また、気候変動問題の影響として未曾有の大雨・台風被害が頻発している等、私たちは現在、これからの予測が本当に困難な時代を歩んでいると言えます。

このような不確実な時代だからこそ、私たちは「金融の枠組みを超えた、強く新しいグループ」を目指します。

これまで以上にしっかりと地に足をつけながらも地域の可能性への挑戦を続け、明るく豊かな未来の創造に向けて、いかなる時も皆さまに寄り添いともに歩んでいきたい。それは青森銀行・みちのく銀行各々の歴史の中で培われてきた地域金融機関としてのDNAであり、当グループ共通の使命です。

皆さまの期待に応えるべく、第1次中期経営計画のスローガン「シナジーを早期に実現し、強固な経営基盤を構築する」のとおり、私たちは想いをひとつにそれぞれの強みを融合させながら、金融サービスの強化と事業領域の拡大へ強力に取り組んでまいります。

引き続き、変わらぬご支援とお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

取締役社長 成田 晋

プロクレアホールディングスの概要

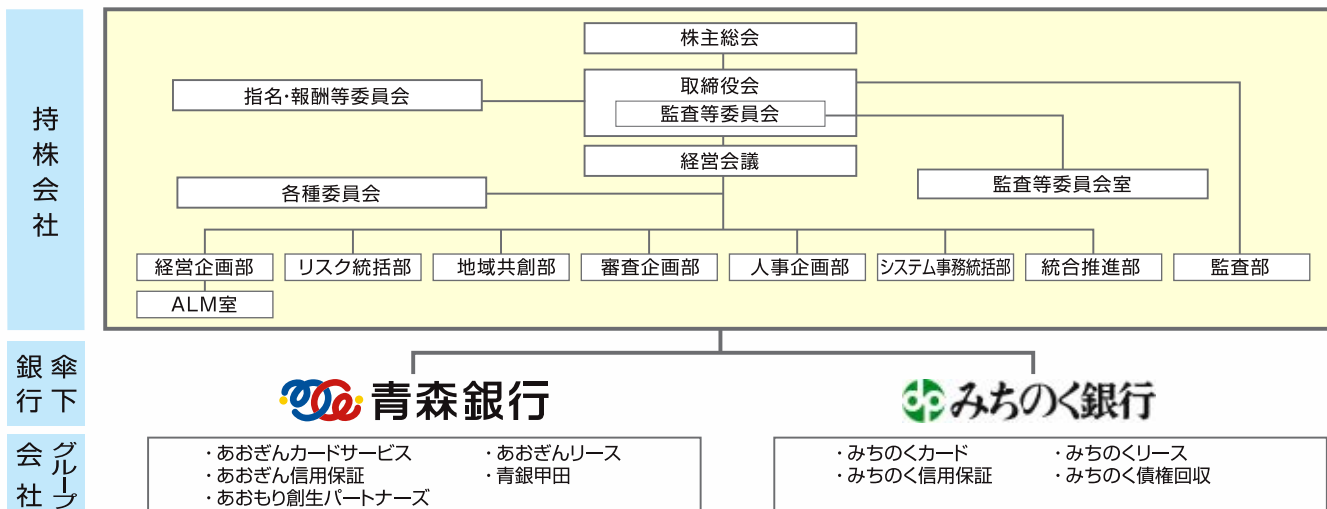
経営理念

- 「地域の未来を創る」
- 「お客さまと歩み続ける」
- 「一人ひとりの想いを実現する」

理念に込めた想い

- ◆私たちは、健全性を堅持するとともに、地域の課題や可能性に積極的に挑戦することで、明るく豊かな未来を創ります。
- ◆私たちは、専門性を高めるとともに、期待を超えるサービスを追求することで、お客さまの信頼に応え、成長と発展に向けてともに歩み続けます。
- ◆私たちは、自主性を尊重するとともに、多様な個性を力に変えることで、自信と誇りに満ちたやりがいのある組織を築き、一人ひとりの溢れる想いを実現します。

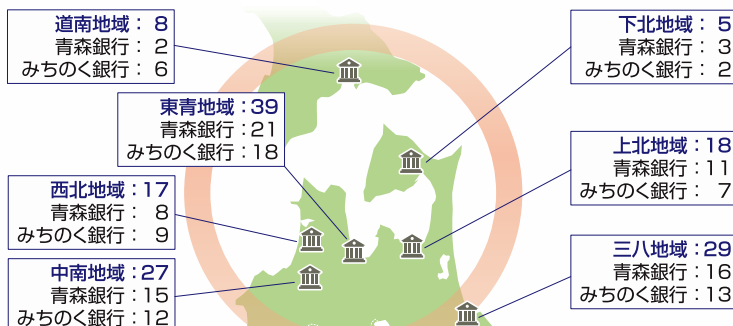
組織図



主要拠点

(2022年9月30日現在)

青森県内から道南地域にかけて強い基盤を有しております。



※支店内支店(1つの店舗内で複数の支店が営業する方式)による統合店は除く。

拠点数

(2022年9月30日現在)

都道県	青森銀行	みちのく銀行	両行計
青森県	74	61	135
東青地域	21	18	39
中南地域	15	12	27
三八地域	16	13	29
西北地域	8	9	17
上北地域	11	7	18
下北地域	3	2	5
北海道	3	7	10
岩手県	1	2	3
宮城県	1	1	2
秋田県	2	2	4
東京都	1	1	2
合計	82	74	156

第1次中期経営計画基本戦略

プロクレアホールディングス第1次中期経営計画

『挑戦と創造』

スローガン

シナジーを早期に実現し、強固な経営基盤を構築する

経営課題

金融サービスの
安定性と質の両立

地域産業の発展
地域住民の生活の向上

健全かつ持続的な
経営基盤の構築

基本戦略

基本戦略I

金融仲介機能の強化

- ① 伴走型コンサルティングの強化
- ② 金融サービス・ソリューションの強化
- ③ 専門性の多角化と深化
- ④ サービスのデジタル化

基本戦略II

事業領域の拡大

- ⑤ 地域共創・総合商社モデルの構築

基本戦略III

経営の合理化・効率化

- ⑥ インフラ等の効率化
- ⑦ 業務のデジタル化
- ⑧ 組織体制の効率化

基本戦略IV

グループ基盤の強化

- ⑨ 人材力の強化
- ⑩ 有価証券運用力の強化
- ⑪ リスク管理態勢の強化
- ⑫ ガバナンス体制の強化
- ⑬ その他サステナビリティ等の取り組み強化

サステナビリティ方針

「サステナビリティ方針」の策定と公表

気候変動・脱炭素の問題をはじめ、健康や相対的貧困、ダイバーシティ&インクルージョン等、「サステナビリティ」への関心は高まる一方です。当方針は、そのような環境下、持続可能な社会の実現に向けたプロクレアホールディングスとしての今後の取り組みの方向性を内外に示すものとして位置付けております。

「プロクレアホールディングス サステナビリティ方針」 彩り豊かな未来を、次の世代に

私たちは、愛する“ふるさと”を美しいまま次の世代に受け継いでいくため、彩り豊かな未来の創造に向けて挑戦してまいります。地域におけるあらゆる課題や無限の可能性と向き合い、環境、社会、ガバナンスの観点から持続可能な事業活動を通して皆さまとともに歩み続けます。

ステークホルダーとのお約束

自然・環境

環境保全と調和した地域経済の成長を目指し、気候変動や自然への影響を常に意識しながら事業活動に取り組んでまいります。

地域社会

自然資本・人的資本の価値が最大限発揮され、ますます魅力あふれる社会となるよう、皆さまとのコミュニケーションを大切に地域社会の発展に貢献いたします。

お客さま

お客さまの最良のパートナーとして、社会の変化に対応しながら、常にお客さまに安心かつ最適なソリューションを提供いたします。

従業員

役職員一人ひとりが健康で自分らしくいきいきと働き続けられ、多様な活躍ができる会社づくり・組織風土づくりを進めてまいります。

株主・投資家

地域の皆さまとともに発展し、すべてのステークホルダーより高い信頼を寄せられる、魅力ある企業であり続けます。



「TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言」への賛同表明

近年、世界各地で異常気象や自然災害による被害が甚大化しており、当社グループの営業基盤である青森県においても、2021年8月には集中豪雨による大きな被害が発生するなど、気候変動が及ぼす地域社会への影響は日増しに大きくなっています。

こうした状況を踏まえ、当社グループは、「プロクレアホールディングス サステナビリティ方針」の下、気候変動を含む「自然・環境」への対応を重要課題と位置付けており、気候変動への対応を強化することを目的として、「TCFD提言」への賛同を表明いたしました。今後は、持続可能な地域社会の実現に向け、気候変動がもたらす様々なリスクや機会の分析を進めるとともに、本提言に則した情報開示の充実に努めていきます。

TCFD提言とは

気候変動に対する取り組みが重要性を増していることを背景に、気候関連の情報開示や金融機関の対応をどのように行うのかを検討するため、G20の要請を受けた金融安定理事会により設立された「気候関連財務情報開示タスクフォース(Task Force on Climate-related Financial Disclosures)」によって公表された提言。企業等に対して、気候変動がもたらすリスクや機会に関するガバナンス体制や経営戦略、リスク管理の手法等を開示することを推奨している。

CSRの取り組み



全社クリーン大作戦の実施

2022年9月、プロクレアホールディングス全社クリーン大作戦を実施しました。このクリーン大作戦では、「小さな親切」運動 青森県本部の趣旨に賛同し、地域への感謝と社会貢献活動の一環として青森県内外各地で清掃活動を行いました。職員および家族合わせて全エリア合計で約1,800名が参加しました。



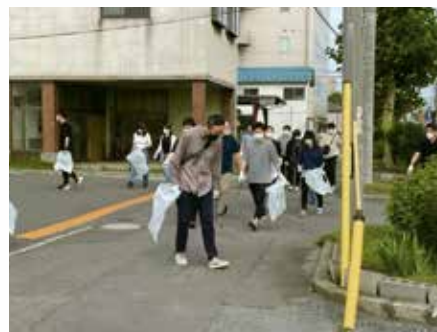
メイン会場(青森市)



八戸会場



十和田会場



函館会場

地域の祭りへの参加

3年ぶりに開催された各地の祭りを盛り上げるため、両行職員が積極的に参加し、地域の皆さまとの交流を図りました。五所川原立佞武多には両行合わせてのべ150名の職員が参加しました。黒石よさでは両行での合同練習の成果を発揮し、流し踊りを披露しました。また、青森ねぶた祭前に運行ルート周辺を清掃し、祭りに参加する方や観光で来青される方に気持ちよく過ごしていただけるよう、おもてなしの心で活動しました。



トモシアホールディングスとの商談会の開催

2022年9月、青森県内の食品関連事業者の販路開拓・拡大支援を目的として青森銀行本店（青森市）にて「挑戦と創造」企画～卸業者と繋がるう～商談会」を両行共同開催し、トモシアホールディングス株式会社をバイヤー企業として招聘しました。2日間で計35事業者が参加し、県産品を活用した商品の魅力を発信しました。



両行鱒ヶ沢支店 大雨災害ボランティア活動

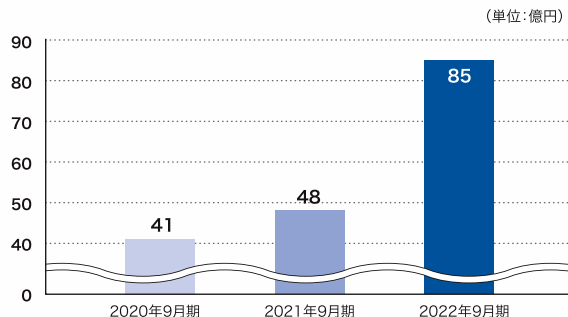
2022年9月、同年8月の大雨災害に見舞われた鱒ヶ沢町舞戸地区において、鱒ヶ沢町福祉協議会による大雨災害のボランティアに両行計11名が参加しました。空き家の床板洗いや泥のかき出し、災害ごみの運搬等の支援をしました。



業績ハイライト(2行合算)

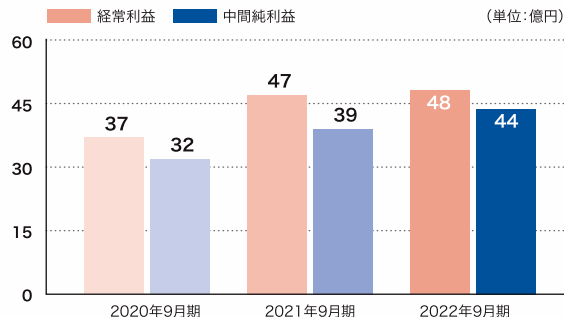
コア業務純益の状況

コア業務純益は、資金利益や役務利益が増加し、経費も減少したことから、前年同期比36億円増益の85億円となりました。



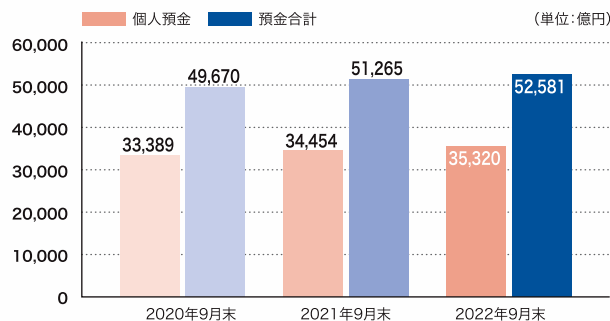
経常利益・中間純利益の状況

経常利益は、与信費用が増加し、有価証券関係損益も減少したものの、コア業務純益の増益により、前年同期比29百万円増益の48億円となりました。また、中間純利益についても、前年同期比4億円増益の44億円となりました。



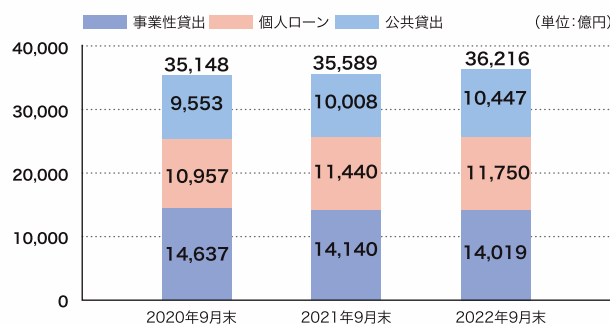
預金(譲渡性預金を含む)の状況

2022年9月末の譲渡性預金を含む総預金は、個人預金を中心に順調に推移し、前年同期末比1,316億円増加の5兆2,581億円となりました。



貸出金の状況

2022年9月末の貸出金は、住宅ローンを中心とした個人ローン及び公共貸出の増加により、前年同期末比626億円増加の3兆6,216億円となりました。

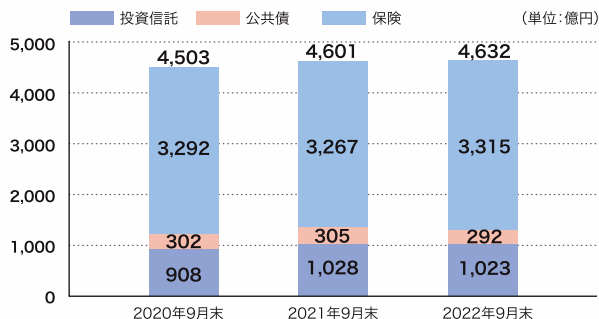


用語解説

■コア業務純益 預金・貸出・為替業務など銀行の本来業務から得られる収益力を示しています。

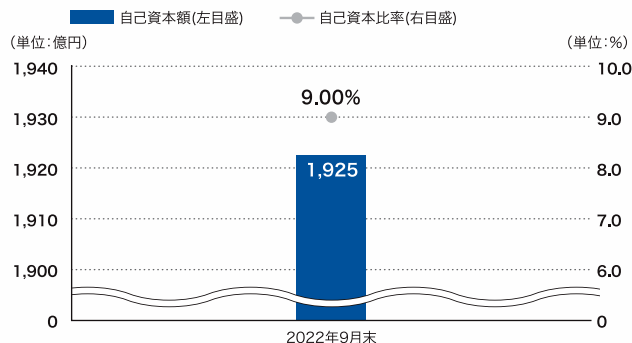
預かり資産の状況

2022年9月末の預かり資産残高は、投資信託や公共債は減少したものの保険が増加したことから、前年同期末比30億円増加の4,632億円となりました。



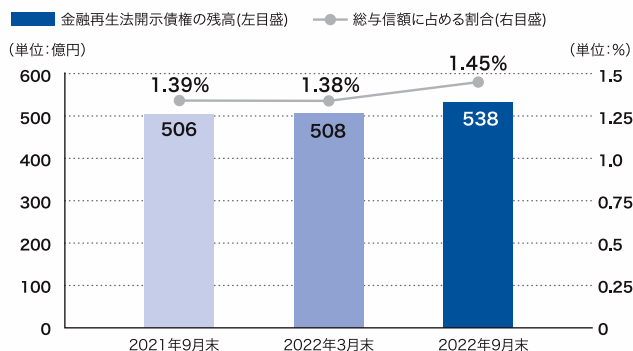
自己資本比率の状況(プロクレアHD連結)

2022年9月末の連結自己資本比率は、9.00%となりました。国内基準である4%を大きく上回る水準を確保しております。



金融再生法開示債権の状況

当中間期末の金融再生法開示債権は、要管理債権の増加等により前期末比30億円増加の538億円となりました。また、与信総額に占める開示債権の比率は前期末比0.07%上昇し1.45%となりました。



■ 経常利益 コア業務純益に有価証券関係損益や与信費用(不良債権処理に関する費用など)を加減した利益です。
 ■ 当期純利益 経常純益に特別利益や税金などを加減した最終的な利益です。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

連結財務諸表

第1期 中間連結貸借対照表 (2022年9月30日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	1,194,935	預 金	4,977,945
コールローン及び買入手形	140,000	譲 渡 性 預 金	261,981
買入金銭債権	4,789	コールマネー及び売渡手形	23,959
金銭の信託	21,958	債券貸借取引受入担保金	5,348
有価証券	880,020	借 用 金	453,724
貸 出 金	3,586,162	外 国 為 替	15
外国為替	4,779	そ の 他 負 債	39,114
リース債権及びリース投資資産	32,270	賞与引当金	1,360
その他資産	67,706	役員賞与引当金	12
有形固定資産	29,839	退職給付に係る負債	137
無形固定資産	4,572	役員退職慰労引当金	3
退職給付に係る資産	6,171	株式給付引当金	292
繰延税金資産	6,617	睡眠預金払戻損失引当金	295
支払承諾見返	23,293	偶発損失引当金	219
貸倒引当金	△ 19,804	再評価に係る繰延税金負債	1,478
		支払承諾	23,293
		負債の部合計	5,789,181
		(純資産の部)	
		資 本 金	20,000
		資 本 剰 余 金	48,263
		利 益 剰 余 金	126,053
		自 己 株 式	△ 632
		株 主 資 本 合 計	193,684
		その他有価証券評価差額金	△ 3,750
		繰延ヘッジ損益	1,478
		土地評価差額金	2,377
		退職給付に係る調整累計額	343
		その他の包括利益累計額合計	448
		純 資 産 の 部 合 計	194,132
資 産 の 部 合 計	5,983,314	負債及び純資産の部合計	5,983,314

第1期 中間連結損益計算書 (2022年4月1日から2022年9月30日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
経 常 収 益	44,300
資金運用収益	23,941
(うち貸出金利息)	(16,800)
(うち有価証券利息配当金)	(6,588)
役員取引等収益	7,225
その他業務収益	1,650
その他経常収益	11,482
経 常 費 用	39,350
資金調達費用	409
(うち預金利息)	(81)
役員取引等費用	3,082
その他業務費用	4,102
営業経費	20,952
その他経常費用	10,803
経 常 利 益	4,949
特 別 利 益	47,175
(うち負ののれん発生益)	(47,140)
特 別 損 失	128
税金等調整前中間純利益	51,996
法人税、住民税及び事業税	927
法人税等調整額	△ 302
法人税等合計	624
中 間 純 利 益	51,372
非支配株主に帰属する中間純利益	16
親会社株主に帰属する中間純利益	51,355

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

中間連結財務諸表の作成方針

子会社、子法人等の定義は、銀行法第2条第8項及び銀行法施行令第4条の2に基づいています。

1 連結の範囲に関する事項

(1) 連結される子会社及び子法人等 11社

- 株式会社青森銀行 ●株式会社みちのく銀行 ●青銀甲田株式会社 ●あおぎんカードサービス株式会社
- あおぎんリース株式会社 ●あおぎん信用保証株式会社 ●あおもり創生パートナーズ株式会社
- みちのくリース株式会社 ●みちのく信用保証株式会社 ●みちのくカード株式会社 ●みちのく債権回収株式会社

(2) 非連結の子会社及び子法人等 1社

- みちのく地域活性化投資事業有限責任組合

2 持分法の適用に関する事項

持分法非適用の非連結子会社 1社

- みちのく地域活性化投資事業有限責任組合

株式情報

株式の情報

(2022年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数

- ・普通株式 60,000 千株
- ・第一種優先株式 13,800 千株

発行済株式の総数

- ・普通株式 28,658 千株
- ・第一種優先株式 1,840 千株

株主数

- ・普通株式 40,972 名
- ・第一種優先株式 1 名

大株主

普通株式

株主名	持株数(千株)	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,693	9.40%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,514	5.28%
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	1,451	5.06%
明治安田生命保険相互会社	565	1.97%
日本生命保険相互会社	478	1.66%
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	382	1.33%
青森銀行職員持株会	374	1.30%
JP MORGAN CHASE BANK 385781	344	1.20%
住友生命保険相互会社	338	1.18%
損害保険ジャパン株式会社	315	1.10%

第一種優先株式

株主名	持株数(千株)	持株比率
株式会社整理回収機構	1,840	100.00%

※ 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しています。

※ 持株比率は、自己株式を控除のうえ算出しています。

株主優待制度

◆ 青森県を中心とした地元の特産品等を掲載したカタログより、保有株式数に応じてお好みの優待品をお選びいただけます。

初回

(2023年3月31日を基準日とする株主優待内容)

保有株式数	保有期間	優待品の金額
100株以上1,000株未満	半年以上継続保有 [※]	3,000円相当
1,000株以上		6,000円相当

※ 半年以上継続保有とは、「2023年3月末日現在の株主名簿に記載、または記録され、かつ同一株主番号で2022年9月末日の株主名簿に記載、または記録されていること」といたします。

2回目以降

(2024年3月31日以降を基準日とする株主優待内容)

保有株式数	保有期間	優待品の金額
100株以上1,000株未満	1年以上継続保有 [※]	3,000円相当
1,000株以上		6,000円相当

※ 1年以上継続保有とは、「当年3月末日現在の株主名簿に記載、または記録され、かつ同一株主番号で前年の3月末日および9月末日の株主名簿に記載、または記録されていること」といたします。

株式のご案内

(2022年9月30日現在)

事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日までの1年です。

定時株主総会

毎事業年度終了の翌日から3ヵ月以内に開催します。

基準日

定時株主総会については、毎年3月31日とします。
その他必要があるときは、あらかじめ公告します。

配当金

期末配当金は、株主総会の決議によって、毎年3月31日の最終の株主名簿に記載された株主または登録株式質権者に対し、株主総会終了後お支払いします。

中間配当金は、取締役会の決議によって、毎年9月30日の最終の株主名簿に記載された株主または登録株式質権者に対し、お支払いします。

単元株式数

当社の単元株式数は100株です。

公告方法

電子公告とします。なお、電子公告は当社ホームページ(<https://www.procrea-hd.co.jp/>)に掲載します。

株主名簿管理人

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社

●株主名簿管理人事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

●郵便物送付先および電話照会先

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(フリーダイヤル)

株式取扱手数料

株式取扱規程に定める手数料を申し受けます。

皆さまにもっと寄り添うために。
私たちは、挑戦の時を迎えた。

これまで皆さまに育てていただいた絆。
その信頼をひとつに束ねて、
時を超え、豊かな未来を創造する力となることが
私たちの使命だ。

それは、金融という枠にはとどまらない。
地域の課題や、眠っている無限の可能性と向き合い、
皆さまとともに歩み続ける。

そう。私たちの歩みは、
今までも、そしてこれからも地域とともにある。
最良のパートナーとして
あらゆる想いに応えていく。

どこまでも青く美しい私たちのふるさと。
ずっとこの地を愛する人々のために。

挑む。超える。ともに創る。

発行 / 株式会社プロクレアホールディングス 経営企画部
〒030-8668 青森県青森市橋本一丁目9番30号(本社) TEL 017-777-5111
URL <https://www.procrea-hd.co.jp> メールアドレス kouhou@procrea-hd.co.jp

(この小冊子は、商品動誘を目的とするものではありません。)

※森林認証を受けた「環境にやさしい」用紙を使用しています。